

K様の状態変化とその対応

アクティブライフ豊中 生活サポート課
けやき居間 松尾真由美

もくじ

- 1) ご入居者について
- 2) K様の普段のご様子
- 3) 転倒事故の増加
- 4) 気分不良の増加
- 5) R2年9月頃からのK様
- 6) R3年1月 大阪病院入院
- 7) 状態変化への対応①転倒事故への対策
- 8) 状態変化への対応②気分不良への対策
- 9) 現在のK様
- 10) まとめ

K様について

(2018年2月)

K.H様 要介護度 1

平成30年2月に他施設
から移動され入居となる。

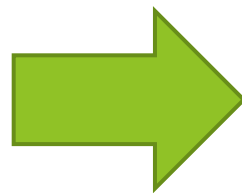
主なADL

食事 見守り

排泄 一部介助

移動 歩行器

入浴 一般浴



(2020年2月)

要介護度 2

主なADL

食事 ほぼ全介助

排泄 昼間：トイレ誘導
夜間：オムツ対応

入浴 シャワー浴

移動 車椅子

洗面、整容 一部介助

K様の普段のご様子

○好きなこと

野球、バレーボール、歌唱
お喋り



○居室でテレビを見ることが多い

○気遣いやさんで穏やかな女性



転倒事故の増加

- 入居前の施設でも転倒されていた
- センサーマット、赤外線センサーで反応があっても既に立ち上がっておられることがほとんど
- 入居後も転倒される事が多くなる



**転倒事故
11件**

気分不良の増加

○貧血

○咽込み

○嘔吐

R2年9月頃からのK様

- 嘔吐や貧血は依然として続いている
- 9月7日 体調不良
以後、数週間ベッド上での生活になる
- ベッド上、車椅子での生活
⇒著しい筋力低下

R3年1月 大阪病院入院

- 1月19日AM 0時過ぎ 夜勤者巡視時、
居室ベッドにて 発汗多量の状態。
- 1月19日 ご家族に状態報告、翌日受診へ。
- 1月20日AM 昨年9月に受診した大阪病院へ。
- 同日 肺炎契機の心不全と診断あり、入院となる。
- 2月14日 病院にて御逝去

発生時の様子：血尿増強、排尿量減少、頻脈

状態変化への対応①

転倒事故への対策

- 赤外線センサー、センサーマットの設置
- ベッド～トイレまでの導線にポール確保
(トイレ内とベッド横に各1つ)
- 日中・夜間の巡視強化

状態変化への対応②

気分不良への対策

○気分不良への対策：

貧血…食事・排泄時の様子観察
鉄剤注射や処方薬

咽込み…食前に口腔体操を実施(10月半ば～)

嘔吐…食後の座位保持時間の確保(食後30分程度)
座位が長引くと身体の傾き、反応の鈍化

○嘔気誘発させないために・・・

①食事の摂り方

②バイタルサイン

③環境(温度、湿度、衣類、騒音、光)

入院されるまでのK様

- 活気のある日が増えてきた
- 筋力低下が著明
 - ベッド、車椅子での生活時間が大幅に増加
- 座位中の様子
 - ①体が左右に傾く
 - ②顎が上がってきてしまう
 - ③過度な前傾姿勢
 - ④表情のこわばり

まとめ

○日々の身体変化

○この先起こりうる可能性がある変化



アセスメントの重要性